

見世 千賀子

MISE,Chikako



【共同研究】

■多様化する社会におけるシティズンシップ教育の比較研究（国際教育センター共同研究プロジェクト）

2019年度に立ち上げた本プロジェクトは、諸外国のシティズンシップ教育の現状と課題およびその特質を明らかにし、比較考察することを通して、グローバル時代の日本のシティズンシップ教育（市民性教育）の在り方について、理論・政策・実践の側面から検討を行うことを目的とする。特に、グローバル化、多文化化の進展する社会において求められる市民性教育とは何かを検討する。2020年度は、フランス、デンマーク、スウェーデン等の近年の動向について、ゲスト講師の講演を基に検討を行った。

■海外子女教育の新展開に関する研究（国際教育センター共同研究プロジェクト）

在外教育施設に学ぶ子どもの実態の多様化が進む中、その多様性に対応するための取り組みが始まっている。本センター共同研究プロジェクトでは、その実態を把握し、今後どのような教育が可能か検討することを目的とする。今年度は、センター所員が情報提供を行い、今後の研究の方向性について検討を行った。

■特別支援教育の対象となる外国にルーツをもつ子どもの実態と指導に関する調査（令和2年度連合大学院博士課程広域科学教科教育学研究プロジェクト）

近年、外国にルーツをもつ子どもの特別支援学校、及び特別支援学級への在籍が増加する傾向にある。また、日本語学級では、日本語指導を必要とする子どもたちの中で、発達障害が疑われるという声が多々聞かれる。外国にルーツを持つ子どもたちをめぐって、教育現場では、認知的な問題なのか、日本語能力の問題なのか、家庭環境の問題なのか、文化的な問題なのか等、判断の難しさから、適切な対応が取れていないことも考えられるが、その実態はまだ十分に把握されているとは言えない。そこで、本研究では、通常学級（一般、日本語学級）で発達の遅れと言語に課題のある子どもを教師はどのように見ているのか。何を課題として、どのような支援を行っているのかについて、主に、学習面、生活面、対人関係面を中心に明らかにすることを目的とする。外国にルーツのある子どもたちの指導を適切に行っていく上で、どのような課題があるのか、特別支援教育と日本語指導等の側面から検討する。今年度は、教員、指導主事等に対して、インタビュー調査を行った。

■文部科学省委託事業「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」（受託：海外子女教育振興財団「AG5 Project」(Advanced Global 5 Project)（平成29～33年研究代表：佐藤郡衛 明治大学）

本事業は、在外教育施設において高度グローバル人材の育成を目指す取り組みを支援するものであり、2019年度からは7つのテーマについて、共同研究・開発を進めている。このうち、2020年度は、テーマ5「南米日本人コミュニティにおける日本型教育・日本語教育の発信・普及のためのプログラム開発とそのための教員研修プログラム開発」のチームリーダーを担当し、パラグアイ・アスンシオン日本人学校で作成した社会科副読本の活用例を示した活用指導案集、およびパラグアイ移住カルタの作成を行った。これらは、現地の日系人移住地にある日本語学校で学ぶ日系人子弟にも活用できるように作成しているところが特徴である。また、オンラインでの日本語学校教員研修に日本から参加した。

■海外子女教育振興財団「G-ONE Project」(Global Overseas New Education Project)（平成28年～研究代表：佐藤郡衛 明治大学、中村雅治 財団相談役）

本プロジェクトは、海外子女・帰国子女教育のさらなる活性化を目指し、新たな政策提言を行っていくため、また、在外教育施設と協働で課題に向き合い、グローバル化時代の新たな教育を創造する目的で立ち上げられた。今年度は、AG5プロジェクト等と関連付けた取り組みを行った。

【研究業績】

- ① 「第5章「日本型能力」と「グローバル型能力」を育む教育—台湾の日本人学校を舞台に」「第7章 現地コミュニティと協働する日本人学校」佐藤郡衛・中村雅治ほか著『海外で学ぶ子どもの教育—日本人学校、補習授業校の新たな挑戦』明石書店、2020年。
- ② 「アスンシオン日本人学校による日本語学校でのオンライン出前授業・教員研修の試み」『海外子女教育』4月号No.578、海外子女教育財団、2021年4月。
- ③ 書評：近藤ブラウン妃美・坂本光代・西川朋美編『親と子をつなぐ継承語教育—日本・外国にルーツを持つ子ども』くろしお出版、『海外子女教育』7月号No.569、海外子女教育財団、2020年7月。
- ④ 監修『社会科副読本（わたしたちのパラグアイ第3版）活用指導案集』、アスンシオン日本人学校、2021年3月。
- ⑤ 監修『パラグアイ移住カルタ』、アスンシオン日本人学校、2021年3月。

【学内の活動】

■海外子女教育セミナー、外国人児童生徒等教育研修会（JSL研修会）（第1・2回）、LGBT研修会、多文化共生フォーラム等、国際教育センター主催行事の運営

第1回オンラインJSL研修会：講義「外国人児童生徒教育・はじめの一步 年少者への日本語教育」

第2回オンラインJSL研修会：講義「日本語の力を高める指導・JSL入門」

【研修会への参加】

■AG5、アスンシオン日本人学校によるアスンシオン日本語学校へのオンライン出前授業・教員研修会（2021年6月）

■三鷹ネットワーク大学：みたか教師力養成講座・講義「国の教育政策と世界の教育の動向」（2019年12月18日）

【社会的活動】

■2020年度文部科学省・日本人学校教育環境整備事業「ICTを活用した教育体制構築に関する実証事業」（受託：海外子女教育振興財団）有識者委員会委員、選考・全体講評

【主な学会活動】

■異文化間教育学会（理事、紀要編集委員）

■国際理解教育学会

■日本比較教育学会

■オセアニア教育学会

■日本教育学会

【教育活動】

■学部「海外・帰国児童生徒教育論」、教職大学院「グローバル化時代の学校教育」「国際理解・多文化共生教育演習Ⅰ・Ⅱ」、次世代日本型教育システム研究開発専攻「次世代日本型教育システム研究開発概論」等

■非常勤講師：青山学院大学教育人間科学部「異文化理解教育」、中央大学文学部「国際比較教育学」、武蔵野大学大学院「比較教育研究」

■教職大学院（国際理解・多文化共生教育サブプログラム）院生1名の主指導担当

■旧修士課程・学校教育（比較国際教育専攻）院生1名の副査を担当

■その他、随時、本学および他大学の卒論・修論等の相談を受けた。